

蔵前-関西午餐会メモ

第712回午餐会 3月6日(火)12時~14時30分 出席者数26名

演題： 『カーネーションの衣装を担当して』

…主人公モデルコシノ綾子と時代背景…ドラマを支えた俳優と裏方さん ドラマカーネーション放送のその後 etc・・・

講師： 大田垣 妙子氏（文化服装学院卒 ・ソワレモード研究所主宰）

【講演まとめ】

2012年にNHK大阪から放映された朝ドラ、「カーネーション」で時代考証等含めて劇中の洋装服飾全般（予備を含む使用品のデザイン/製作まで）を担当された、大田垣妙子氏から、ファッション史に基づいた広い範囲の講演を聞いた。

ドラマは実在の洋装店主が、婦人服を生業として事業と人生を幅広く生き抜いていく様子を、人間性豊かに描き、高い評価を得ている（海外でも放映）。講師は実際のファッションデザイン変遷を実物衣装製作をバックに、ドラマ製作時のスタッフ協力ぶりまで含めて、含蓄多い解説と興味あふれる話を、披露いただいた。

----- (HP掲載の内容) -----

【Ques. & Ans.】

Q1：1946にどんなところで、ディオールデザインが伝来していたのか？

Ans：オシャレなヒトは、いつでも・どんな場所でも 何処にでも居ます。この年に綾子は闇市で「水玉生地」見つけたと日記に記している。

Q2：ディオール(社)は、なにを作りどのように影響を与えたのか？

Ans：デザイン会社としては、何から何まで（多く幅広く）出がけている。

Q3：文化服装学院とドレメ（目黒在）はそれぞれどのような違いと考えるか？

Ans：文化…学院（並木伊三郎 創設）は「実質的」、ドレメ（杉野芳子 創立）は「オシャレ志向」と考えている

（講師（大田垣妙子さん）の母上は、昭和初期に文化学院在学、その当時の教科書を今回75年ぶりに見つけて、資料として役立てた）

Q4：21世紀になって（2000年以降の最近）からの洋服について、どう考えられますか？

Ans：現実的な規範を知らずに、ルール無用（の状態）が横行している。しかし基本のルールは不変で、これは成立（持続）し続けると思う。

Q5：カクテルドレス・フォーマルウェア（「その他の衣装⑤ ページ」類）のようなドレスは、どう扱われていくか？

Ans：（回答メモ 記載漏れ）

Q6：「その他の衣装③」にあるフォーマルウェア・衿付きドレスには、ネックレス着装が基本と聞いてきたが…

Ans：礼装の規範は、基本的に変わらないと考えている。

要旨・補足：

1. 最初に自己紹介と NHK ドラマとの関係説明

京都出身・今も京都-京田辺市内で服装・ファッション教育を行っている。

東京文化服装学院（略称=ドレメ、母親も同窓・同業だった）に学び、コシノジュンコ・ヒロコと同窓・同世代。

今回、この連続ドラマをNHK大阪が制作するにあたり、東京-文化服装学院経由の紹介（照会）打診があって、引受けを決めた。

その項目（内容）としては

・時代考証

・（使用する衣裳の）デザイン、70着（×3着（本番・リハ・スペア））をデザイン ⇒ 総計 210着 を製作

・（々）その製作 / X

・小篠綾子（1913年生れ・作中では小原糸子）がドラマ中で使う「デザイン画」約100枚を制作

・演技内での衣裳衣服の取扱いに関する演技指導

準備～収録完了に約1年弱要した ⇒ ドラマ制作完了のときに撮影した集合写真には約300人が集まった

（しかも名だたるスターに成長したヒト多数！）

「脚本=渡辺アヤ」の基本的考え方=ドラマは希望と友情を育むモノ…共感！←☆☆

・「ディオール（1905～1952 早逝）」その人がコシノ綾子自身の、（デザイン）発想の原点だった！

⇒ フランス北部（マンシュ県グランヴィルで生誕）で、改めてその原点場所を訪問した。

2. 添付資料『年表』参照して、さらにスライド（パワポ）で衣装 Photo を提示

そのソレゾレを補則解説（ドラマストーリーのポイント、ファッションイベントなど）[☆ナンバーで対照している]

・カーネーションの服達と時代背景No.1

☆1：「イトコ」10歳のとき（1923）、自宅押し入れ内の「更紗」生地でワンピース作る（婦人雑誌の型紙で自作）

☆2：「イトコ」15歳（1928）、父の反物「阿波シジラ」生地でワンピース制作

☆3：東京白木屋火事（1932）⇒大阪 某デパートの店員制服 ⇒（当時を知る）存命の先輩に尋ねて、再現した

・カーネーションの服達と時代背景No.2

☆4：終戦後（1946）、闇市の水玉生地（工夫デザインでヒット・繁盛）からファッション従事

☆5：Cディオール-デザインのコロールライン（1947発表）をベースに、ドラマの衣装をデザイン

・カーネーションの服達と時代背景No.3

☆6：1952…ディオール：チューリップライン発表 ⇒ これを再現して、ドラマ衣裳へ

☆7：同じ頃：「Hライン」発表 ⇒ 々上

・カーネーションの服達と時代背景No.4

☆8：1954頃、同じくディオール「フリーライン」⇒スカートは円形で、胴回りをピッタリ合わせて…

・カーネーションの服達と時代背景No.5

☆9：同じ頃 フリーラインの変形「Aライン」

☆10：同前 同じく Aライン。ドラマ看護婦勝として制作（デザイン）したもの

・カーネーションの服達と時代背景No.6

☆11：1958頃、脱ディオール⇒サンローランの「トラペーズ※ライン」へ [※：台形のこと]

☆12：1964（東京五輪の頃）ル・クレージュのミニドレス⇒さらにツイギー/ミニの時代（+ビートルズ）へ
オートクチュール（高級婦人服）からファッション全盛期（文化が変わった、典型がビートルズ/リバプールに）

・その他の衣装①について

衣料統制の時代（1940～43頃）

⇒ グレーなら許される → 金モールの上側に黒テープ覆って隠した衣装

（もともと和装の布地：監督意志でグレー地に金線の生地探した）

お正月用に赤色の上着を準備したが、結局（TVドラマの）放映場面には使われず

・その他の衣装②について

コシノジュンコ（ドラマでは次女-直子）の店（デパート内）開店時展示用衣装-ジュンコ本人のチエでデザインした

⇒ モチーフ= 花（アンセリウム）としてデザインしたもの

☆13：太め体型に合わせて「バレルライン」

☆14：コシノアヤコ（劇中-小原糸子=88歳）病院のファッションショー主宰の場面で作ったモノ。

監督指示で、あえて 普通 でない非対称デザインにした衣装

・その他の衣装③について

アヤコ 88歳、友達ナツ（同じ 88歳）の2人による空想のファッションショー場面用の衣装、複雑な経歴を辿ってきた
ことから、シナリオ脚色のテーゼ（冒頭の☆☆記載）を具現化するデザインとして「赤白ベア」デザインである

・その他の衣装④について

病院で ガン 患者の母親が、

☆15：希望（夢）を取り戻す（完治？）シーンを象徴させて

☆16：おばあさん（入院先院長が決めたコトにより）晴れ晴れとした気持で、天の羽衣をイメージして

・その他の衣装⑤について

友達ナツが（ドラマの途中で 一時の）

☆17：幸せをつかむシーン（=結婚式）で着用した

☆18：主人公（コシノアヤコ）が、若い時代に立体裁断を取り入れたとき

「布を巻き付けて…洋服をデザインしたもの

・その他の衣装⑥について

アヤコ-75歳で「アヤコブランド-新立ち上げ」の製品として、汕頭（スワトー=白・ピンクレース）生地を使って制作

・これらの制作品（時代考証した衣装）は 早稲田大学（坪内逍遙記念-演劇博物館）等・で、特設展示※の機会を得ている。

※：「カーネーション」記念TVドラマ展示会が開催された

以上

関西蔵前午餐会

NHK朝の連続テレビドラマ 「カーネーションの衣装を担当して」

- 主人公モデルコシノ綾子と時代背景、
ドラマを支えた俳優と裏方さん
- ドラマカーネーション放送のその後etc . . .

2018年3月6日

於 大阪中央電気クラブ

講師 大田垣 妙子

- 大阪府認定ファッション技能服飾士
- ソワレモード研究所主宰
- 文化服装学院教務部生涯学習課指導員
- 社会通信教育協会認定インストラクター
- NHKドラマ「カーネーション」の衣装担当

ディオールのデザインに影響されて-1

クリスチャン・ディオールは1905年
ノルマンディー地方のマンシュ県
グランヴィルで生まれた



この連続ドラマをNHK大阪が制作するにあたり、文化服装学院経由の紹介(照会)打診から引受ける。

その項目(内容)としては

- ・時代考証
- ・(使用する衣裳の)デザイン \ 計 70種類 ⇒(実使用)総計 210着 を製作
- ・(々)その製作 / X 3着(本番・リハ・スペア)/各デザイン
- ・小篠綾子(1913年生れ・作中では 小原糸子)がドラマ中で使う「デザイン画」約100枚を制作
- ・演技内での衣裳衣服の取扱いに関する演技指導

ディオールのデザインに影響されてー2

ディオールの故郷にその原点を見るべく
グランヴィルを訪ねて









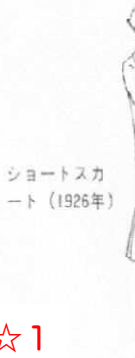
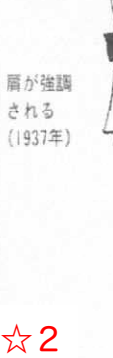

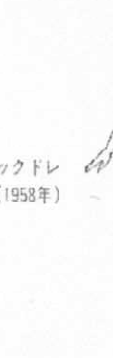
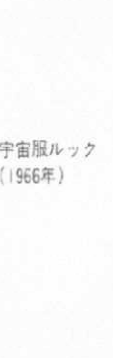
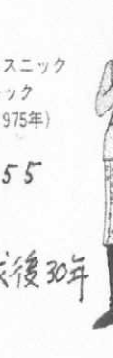
クリスチャン・ディオールの故郷
グランヴィル(ドーバー近く)の海岸



・「ディオール(1905~1952 早逝)」その人が コシノ綾子 自身の、(デザイン)発想の原点だった！
⇒ フランス(ノルマンディ-グランヴィルで生誕)で、改めてその原点場所を訪問した。

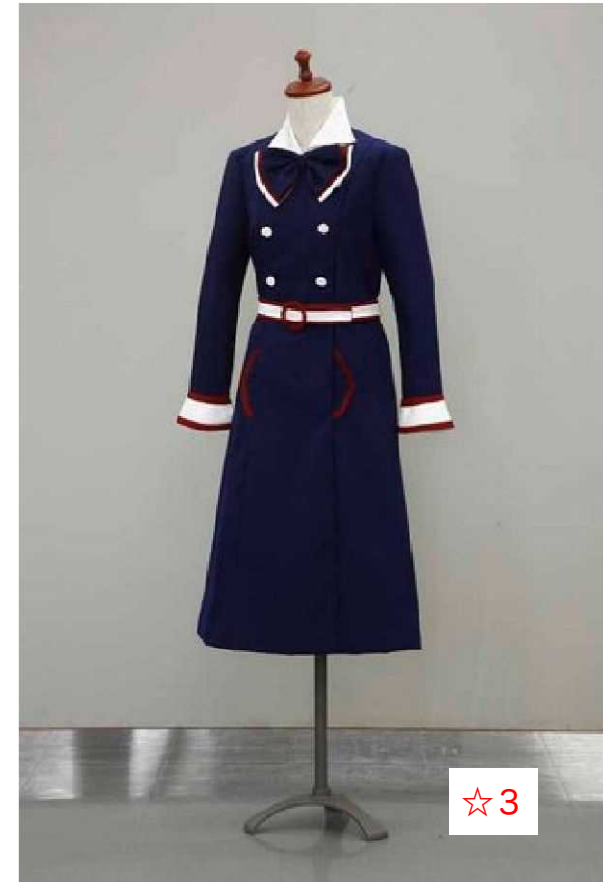
カーネーションの服達と時代背景No 1

1923年～1932年

1910年代	1920年代 (79)	1930年代 (54)	1940年代 (51)	1950年代 (52)	1960年代 (53)	1970～1980年代 (54)
現代化への過渡期	ギャルソンヌスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年の婦人服</p>	 <p>スリムでロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940年代前半)</p>	 <p>Aライン (1955年) S30</p> <p>戦後10年目</p>	 <p>グラフィックルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカート (1926年)</p> <p>☆1</p>	 <p>肩が強調される (1937年)</p> <p>☆2</p>	 <p>ディオールのニュールック (1947年)</p> <p>☆3</p>	 <p>サックドレス (1958年)</p>	 <p>宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニックルック (1975年)</p> <p>S55</p> <p>戦後30年</p>

カーネーションの服達と時代背景No.1

1923年～1932年



・カーネーションの服達と時代背景No.1

☆1：「イトコ」10歳のとき(1923)、自宅押入れ内の「更紗」生地でワンピース作る（婦人雑誌の型紙で自作）

☆2：「イトコ」15歳(1928)、父の反物「阿波シジラ」生地でワンピース制作

☆3：東京白木屋火事(1932)⇒大阪 某デパート店員の制服 ⇒（当時を知る）存命の先輩に尋ねて、再現した

カーネーションの服達と時代背景No.2

1946年～1947年

1910年代	1920年代(19)	1930年代(55)	1940年代(5/5)	1950年代(525)	1960年代(535)	1970～1980年代(545)
現代化への過渡期	ギャルソンヌスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年のパ ンツ ス タ イル 婦人服</p>	 <p>スリムで ロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940 年代前半)</p>	 <p>Aライン (1955年) S30</p> <p>戦後 10年目</p>	 <p>グラフィック ルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカ ート (1926年)</p>	 <p>肩が強調 される (1937年)</p>	 <p>ディオ ールの ニュー ルック (1947年)</p>	 <p>サックドレ ス(1958年)</p>	 <p>宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニック ルック (1975年) S55</p> <p>戦後30年</p>
			☆4 ☆5			

カーネーションの服達と時代背景No.2

1946年～1947年











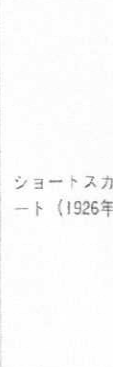





・カーネーションの服達と時代背景No.2

☆4：終戦後(1946)、闇市の水玉生地(工夫デザインでヒット・繁盛)から 戦後の女性ファッションが再興

☆5：Cディオール-デザインのコロールライン(1947発表)をベースに、(ドラマ衣装用としてデザインしたもの)

カーネーションの服達と時代背景No.3

1953年～1954年

1910年代	1920年代(79)	1930年代(54)	1940年代(5/5)	1950年代(525)	1960年代(535)	1970～1980年代(545)
現代化への過渡期	ギャルソンヌスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年の婦人服</p>	 <p>スリムでロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940年代前半)</p>	 <p>Aライン (1955年) S30</p> <p>戦後10年目</p>	 <p>グラフィックルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカート (1926年)</p>	 <p>肩が強調される (1937年)</p>	 <p>ディオールのニュールック (1947年)</p>	<p>☆6</p> <p>☆7</p> <p>☆8</p>  <p>サックドレス (1958年)</p>	 <p>宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニックルック (1975年)</p> <p>S55</p> <p>戦後30年</p>

カーネーションの服達と時代背景No.3

1953年～1954年



・カーネーションの服達と時代背景No.3

☆6：1952…ディオール：チューリップライン発表 ⇒ これを再現して、ドラマ衣裳へ

☆7：同じ頃：「Hライン」発表 ⇒ 々上

カーネーションの服達と時代背景No 4

1954年前後

1910年代	1920年代(ア9)	1930年代(S5)	1940年代(S15)	1950年代(S25)	1960年代(S35)	1970~1980年代(S45)
現代化への過渡期	ギャルソンヌスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズ =ウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年の 婦人服</p>	 <p>スリムで ロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940 年代前半)</p>	 <p>Aライン (1955年) S30</p> <p>戦後 10年目</p>	 <p>グラフィック ルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカ ート (1926年)</p>	 <p>肩が強調 される (1937年)</p>	 <p>ディオ ールのニ ュール ック (1947年)</p>	<p>☆6 ☆7 ☆8</p>  <p>サックドレ ス(1958年)</p>	 <p>宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニック ルック (1975年)</p> <p>S55</p> <p>戦後30年</p>

カーネーションの服達と時代背景No.4 1954年前後

















・カーネーションの服達と時代背景No.4

☆8：1954頃、同じくディオール「フリーライン」⇒スカートは円形で、胴回りをピッタリ合わせて…

カーネーションの服達と時代背景No.5

1954年前後

1910年代	1920年代(アウ)	1930年代(ス)	1940年代(ス)	1950年代(ス)	1960年代(ス)	1970~1980年代(ス)
現代化への過渡期	ギャルソンヌスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年のパルパル婦人服</p>	 <p>スリムでロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940年代前半)</p>	 <p>☆9 Aライン (1955年) S30 戦後10年目</p>	 <p>グラフィックルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカート (1926年)</p>	 <p>肩が強調される (1937年)</p>	 <p>ディオールのニュールック (1947年)</p>	 <p>☆10 サックドレス (1958年)</p>	 <p>☆12 宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニックルック (1975年) S55 戦後30年</p>

カーネーションの服達と時代背景No.5 1954年前後



・カーネーションの服達と時代背景No.5

☆9： 同頃 フリーラインの変形「Aライン」⇒「綾子さん恋心」抱き、勝負服になる

☆10： 同前 同じく Aライン。看護婦エピソード用に制作（ドラマ衣装用としてデザイン）したもの

カーネーションの服達と時代背景No 6

1958年～1970年

1910年代	1920年代(ア9)	1930年代(54)	1940年代(515)	1950年代(525)	1960年代(535)	1970～1980年代(545)
現代化への過渡期	ギャルソンマスタイル	フェミニン調の復活	軍服調からニュールックへ	多様なシルエットラインの登場	新しい価値観の出現	多様化した価値観
 <p>ルーズ ウエスト (1916年)</p>	 <p>1924年の 婦人服</p>	 <p>スリムで ロング (1930年)</p>	 <p>軍服調 (1940 年代前半)</p>	 <p>Aライン (1955年) S30 戦後 10年目</p>	 <p>グラフィック ルック (1965年)</p>	 <p>パンタロン</p>
 <p>東洋調 (1911年)</p>	 <p>ショートスカ ート (1926年)</p>	 <p>層が強調 される (1937年)</p>	 <p>ディオー ルのニュ ールック (1947年)</p>	 <p>サックドレ ス(1958年)</p>	 <p>宇宙服ルック (1966年)</p>	 <p>エスニック ルック (1975年) S55 戦後30年</p>

カーネーションの服達と時代背景No.6

1958年～1970年



・カーネーションの服達と時代背景No.6

☆11：1958頃、脱ディオール⇒サンローランの「トラペーズ※ライン」へ [※：台形のこと]

☆12：1964(東京五輪の頃) ル・クレージュのミニドレス⇒さらにツイギー/ミニの時代(+ビートルズ)へ
オートクチュール(高級婦人服)からファッション全盛期 (文化が変わった、典型がビートルズ/リバプールに)

その他の衣装①



- ・その他の衣装①について
衣料統制の時代（1940～43頃）
⇒ グレーなら許される → 金モールの上側に黒テープ覆って隠した衣装
（もともと和装の布地：監督意志でグレー地に金線の生地探した）

お正月用に赤色の上着を準備したが、
結局（TVドラマの）放映場面には使われず

その他の衣装②

・その他の衣装②について



☆13



☆14

コシノジュンコ(ドラマでは次女-直子)の店(デパート内)開店時展示用衣装-
⇒ モチーフ= 花 (アンセリウム) としてデザインしたもの

☆13： 太め体型に合わせて「バレルライン」 ← 出演者特注の衣装として製作したモノ
☆14： コシノアヤコ(劇中-小原糸子=88歳) 病院のファッションショー主宰の場面で
作ったモノ。監督指示で、あえて 普通 でない非対称デザインにした衣装

その他の衣装③



- ・その他の衣装③について
アヤコ88歳、友達ナツ(同じ88歳)の2人による空想のファッションショー場面用の衣装、「赤白ペア」デザインである

その他の衣装④



☆15



☆16

・その他の衣装④について ... 病院で ガン 患者の母親が、
☆15：希望(夢)を取り戻す (完治?) シーンを象徴させて
☆16：おばあさん用、天の羽衣をイメージして

その他の衣装⑤



☆17



☆18

・その他の衣装⑤について… 友達ナツが(ドラマの途中で 一時の)
☆17：幸せをつかむシーン (=結婚式) で着用した

☆18：主人公 (コシノアヤコ) が、若い時代に立体裁断を取り入れたとき
「布を巻き付けて…洋服を…巻付けに合わせてデザインしたもの

その他の衣装⑥



- ・その他の衣装⑥について
アヤコ-75歳で「アヤコブランド-新立ち上げ」の製品として、汕頭(スワトー=白・ピンクレース)生地を使って制作

カーネーション衣装担当のタイムスケジュール№1



仲間について、きめ細かい仲間意識が行き届いている

⇒ 例えば 照明マンは、薄暗いスタジオ内で作業中の講師(太田垣さん)用に手近用ライトを準備してくれた など
夏木マリ (老け役になって) に施す 特殊メイクアップなどスゴ腕 そのもの
衣装担当は、準備した衣装を出演者 それぞれにピッタリあわせていく (打ち上げPhotoに、その一部が使われている)

京田辺市において展示会



(大田垣妙子が紡ぐ
NHK・朝のドラマ「カーネーション」の
ドラマの中で
展開された
数々の衣裳の
是非
ご覧下さい！)

約40点
作品

大津至



病院でファッションショー
-
糸子と奈津

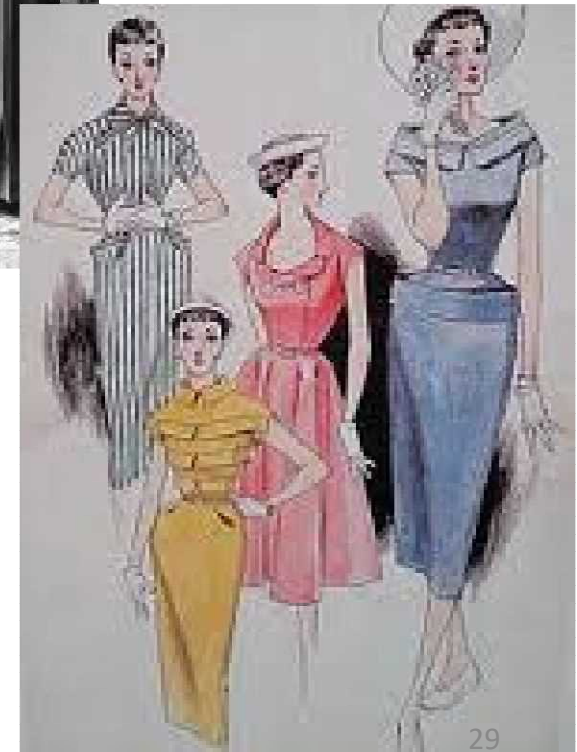


京田辺市展示会

展示会参加者に説明



日本人と洋服との出会い—その後の変遷—



ミシン伝来



尾野真千子さんのお話 (カーネーションについて)
2017年6月 早稲田大学 大隈記念館にて



テレビドラマ博覧会
2017年6月 早稲田大学 演劇館（坪内逍遙記念館）にて



NHK朝のドラマ～カーネーション～²²

・これらの制作品（時代考証した衣装）は 早稲田大学(坪内逍遙記念-演劇博物館)等・で、特設展示※の機会を得ている。
※：「カーネーション」記念TVドラマ展示会が開催された

参考文献

- 「綾子とあかい糸」 さとうひさえ著
「概説日本服飾史」 小池三枝著
「服装の移り変わり」 中田満雄著
「今日的スタイリストの条件」 林 泉著
インターネットより「パリ散歩」
「ミシンの歴史」等引用